

柎の木からの手紙

2024年 師走 12月号



1日： 新月 旧 11月 1日
7日： 大雪
15日： 満月 旧 11月 15日
21日： 冬至
31日： 新月 旧 12月 1日
(今月12月は新月が2回あります)

5年振りだろうか、妻が予定してくれたお陰で根雪前に実家に帰省する事が出来た。娘達も途中で合流して私の実家で両親を自宅介護する姉を手伝ってくれた。久し振りの帰省は、迷子になりそう。降り立つ空港・駅では職員に尋ねる事が多かった。写真のぐんまちゃんは尋ねても答えてくれない。

実家では、すぐさま自宅介護の実態を目の当たりにする。一人歩けなくなると、自宅ではその人を中心に生活が回る。その殆どは排泄介護と食事。ベッド・車椅子・歩行器・専用トイレで生活する、歩けない人を支えるのは二人掛りでやっと。乗移りに失

敗して床に座らせてしまったら元に戻るのは大変な苦勞だと言う。

到着したその日から父親に代わって姉と介護を始めた。夜は、隣の部屋で持参した寝袋で寝て、夜中に母のトイレをする時に姉が母の所へ来た気配で直ぐに起きて手伝っていた。そして、気が付いた事は、食事のテーブルが母の膝より低い事。実家にいる間に母用のテーブルを作ってあげようと思ひ構想を巡らせながら眠りにについている。

二日目からテーブルを作り始めた。父に家にある廃材を聞き寸法を測っていたら、父が電動丸鋸を持ち出して来て、私が木材を切るのを手伝ってくれた。テーブルは歩行器の段差を利用して取り外しができる様にはめ込んだもの。姉は、丁度良い布を探してきて板を覆ってくれた。翌日には、ミシンを持ち出して袋状にした布で板にカバーを付けてくれた。母のテーブルを作る事で家族がひとつになっていた貴重な時間。娘たちは、ばあちゃんの指の爪にマニキュアを塗ってあげていた。母は、生まれて初めての事に大喜びでした。年代と共に世の中の見え方の変化を感じています。



中学1年生の頃の不思議な出来事

私は、茶の間で寝起きしていたが、部屋の東側の柱に頭を向けて布団を敷いていた（ミシンをかけている写真の姉の左肩の柱）。1年生の頃何度か続けて金縛りに会い、意識はあると思うのだが体が動かない。そして足元から白い霧のようなものがすーっと体の脇を頭の方へ通り抜けて行く様子を感じていた。湿気の多い梅雨明け後の日曜日、畳を剥がして立てて、畳干しをしていた。そして父が、畳を剥がした木の隙間に30cm程の小さな蛇を見つけた。それは、丁度私が枕元にしていた柱の根元の隙間だった。その蛇を逃がしてからは金縛りの記憶が無い。

来年は、巳年。心の脱皮を繰り返し最後までより良い生き方を・・・

私は、蛇は好きではありませんが、蛇は、不思議な力を持っているようです。

10年前の秋、ビートの収穫作業中の出来事

有機JASの畑の一般圃場でビートの収穫作業中、収穫したビートを自分で土場まで運搬する際に道端にいた40cm程の蛇を、避けたつもりでしたが右後輪で轢いたようでした。死骸は一晩で他の動物が持って行った様で次の日にはありませんでした。

ビートの収穫作業が終りに近づく11月1日。土場と同じ場所にある畑のビート収穫中の出来事。ダンプに満載したビートを空ける際に荷台を上げ終わる頃荷台が右側に傾いたと思った後はスローモーション。横倒しになったダンプの中でエンジンを止めて助手席側の窓からケガも無く無事に出てきました。状況を確認すると、ダンプの荷台の支点の鋼材が紙を切る様にちぎれていました。

2000年頃からか

「試される大地 北海道

一步前へ出る勇気があれば きっと何かはじまる」

という、北海道のキャッチフレーズがあり、自分の励みにもなっていた。

2017年頃からは

「その先の、道へ、北海道」

というキャッチフレーズにいつの間にか変わったが、知らなかった。

私は、最初のキャッチフレーズが気に入っているが、「一步、一步前へ出てきたら更にその先へ進まない」と言う流れにはなっている様に感じている。

やりたいと言葉を発して4年近く。毎年冬季間になると、どうしようかと悩みこの冬は変わった。時機到来というのか？

11月6日に議員カフェに行って町議さんに「私は、こんな事をやろうと思っています」と申告。翌7日には、教育委員会の担当者に申告。今は、担当者の方々に支えられながら資料作りの日々。

「知識は種、感性は土壌」種蒔き始めます。結局は、自他ともに活かすあり方のひとつ。

世界的に有名なマイコンボード
「アルドウイーノ」にふれてみよう！

指導：美幌町社会教育課 助員 子ども部会 高橋 裕司さん

はじめてのプログラミング

マイコンボードでLEDを光らせてみよう！

- ① 12月25日(水) 全3回 13:00~15:00
- ② 12月26日(木)
- ③ 12月27日(金) 場所 美幌町民会館

申込みについて

- ・参加対象 町内小学校5~6年生 定員3組(1組1名からご参加いただけます)
- ・※友達同士・ご兄弟でのお申込みは1組につき2名まで、ご家族でのお申込みは3名まで受け付けます。
- ・1回のみのご参加も可能です。申込み時にお伝えください。
- ・申込期間 12月9日(月)~24日(火)
- ・申込みは先着順です。定員になり次第締め切らせていただきます。

申込み・問合せ先 美幌町教育委員会社会教育課 (電話73-4187 町民会館内)